

## 学校における「教育の情報化」「EdTech（エドテック）」への対応

校長 谷口源太郎

早いもので本校に赴任して3年目を迎えました。3年前の6月号の学校だよりを読み直すと、この3年で学校現場は加速度的に変化していることを実感します。

というのも3年前の学校だよりで近い将来の学校像について具体的に紹介していたことが、3年後の今はそのほとんどが現実のこととして行われているからです。

例えば、子どもの「学び」に関することでは、授業の中でタブレット端末を子どもたちが使いこなしながら授業を行っていることです。3年前には行われていなかったことが今は普通に行われています。昨年度は主に中学年以上で活用されていたタブレット端末を活用した授業が、今年度は低学年や特別支援学級にも広がり、本校の全児童と全教師がタブレット端末を授業の中で使いこなすようになってきました。その他にも教科書もデジタル化が進み、学習者用デジタル教科書が一部の教科ではすでに使われ始めています。学校と家庭を結ぶオンライン授業も特別なことではなく、ごく普通に行っていますし、学校行事のYouTube配信なども行うことができます。

一方で「学び」以外のことについても同様です。学校と家庭を結ぶデジタル通信システムが年々更新、改善され、欠席・遅刻届のメール化と自動集約、学校からの学校評価アンケートのデジタル化、学校だよりやその他の案内プリントのペーパーレス化とメール配信、PTA活動も募集案内や集約方法もデジタル化されています。

このように学校現場はこの3年で大きく変容しています。この変化のスピードに私たち人間がついていけないのでしょうか？私たち大人も日々の「学び」を通してアップデートしていかなければならないと感じています。

### 【学び以外のデジタル化】

## 【子どもの学びに関するデジタル化への対応】

### 3年2組タブレット端末を活用した「鉄棒運動」 2022年07月01日

**B1: 個に応じる学習**  
前時の動きを振り返り、課題をもつ

**B1: 個に応じる学習**  
友だちの逆上がりを撮影し記録する。

**C2: 協働での意見整理**  
友だちと一緒に動きを振り返る

前時に撮影した逆上がりの映像を振り返り、今日の課題を見つけて練習する。友達が逆上がりをしている様子を撮影して前時の映像と見比べる。時にはスローモーション機能を使って自分の動きを確認。保存された動画データは、ロイノートを使って先生のタブレットに送信される。その動画をみて先生は、子どもの成長の過程を見届けて評価を行う。

### リコーダーの運指指導に自作のデジタル教材を活用しています 2022年09月08日

音楽の授業では、専門性の高い先生が3年生のリコーダーの指使いを指導するために、自作のデジタル教材を制作して授業に活用しています。また、今年度から学習者用デジタル教科書を活用して授業を行うようにしています。

### 【教育の情報化】指、タッチペン入力、キーボードを使ったひらがな、ローマ字入力の取組 2022年10月14日

今後、学校としてはこれらの入力方法をどの学年で身に付けさせるべきかを体系化していこうと考えています。それに伴って学習の成果物(〇〇新聞、〇〇の記録など)を手書きでまとめるか、文書データとしてまとめるか?についても体系化していこうと考えています。

現在はいろいろな学年で試しながら取り組んでいる段階ですが、最終的には小学校が終了する段階ですべての入力方法を身に付けられたらよいと考えています。

### 6年picture dictionary及びヘッドセット等を活用して英語科授業を行いました 2022年11月29日

ヘッドセットを付けた個別学習  
導入の指導者とAEAの一斉学習の様子

発表を練り上げる個別学習  
発表を録音するペア学習  
相互に発表するグループ学習

本校では、英語専科の先生とAEAの先生がTT(チーム、ティーチング)できめ細やかな指導を行っています。子どもたちは、picture dictionaryのコンテンツを使ってヘッドセットを付けて個別学習に取り組んでいます。ペアで自分たちの発表を録音して振り返り、グループでも発表し合って自分の表現力を高めています。自分の発表映像を見ながら、課題を見つけて更により良い表現へと高めていきます。

### 3の2でロイノートを活用した学級活動(話し合い活動)の研究授業を行いました 2023年2月13日 計画委員会での活用場面

計画委員会  
議題募集・選定・決定

ロイノートに話し合いの  
こと記入して送信、集約

ロイノートの付箋に自分の考えを入力する

各自の考えを  
事前に付箋  
本時の流れを  
構想

各自の考えを  
事前に付箋  
本時の流れを  
構想

教師へ送信されたデータを集約、記録・保存  
話し合いの展開を想定した授業プランをつくる

教師は動画資料等を作成・準備

### アナログとデジタルを組み合わせた補充指導

【朝学習】ベーシックタイム(火曜日、木曜日毎週 15分)  
15分×35週×2曜日=1050分/年(漢字の読み書き・計算問題等の定着)

【補充指導におけるアナログとデジタルの使い分け方について検証】

【土曜授業日】パワーアップタイム(毎月1回1校時 45分)  
45分×10月=450分/年(漢字の読み書き・計算問題等の定着確認や習熟を図る)  
土曜授業の学力補充指導での複数体制(担任、指導方法改善、理専、音専、教頭)による指導

### 【完全オンライン授業】 6年1組(理科授業) 2022年06月16日

◆テレビ会議システム(teams)とロイノートを使って授業を行う方法  
教師用タブレット端末と児童用タブレットでデータのやり取り及び映像をつなぐ。

### 1月16日(月)6年部の校内オンライン授業(社会科)

A組 対面:従来の授業  
B組 オンライン授業

大画面モニター  
授業者  
カメラ用タブレット  
teams

補助者  
カメラ用タブレット  
teams  
大画面モニター

授業者  
オンライン  
配信

A組の対面授業をタブレットカメラで撮影しMicrosoft teamsでB組にも繋いで配信する。

### ハイブリッド型オンライン授業の実践(6年1組) 2022年4月18日

◆テレビ会議システム(teams)を使って授業を流し撮りする方法  
教師用タブレット端末と児童用タブレットとをteamsでつなぐ。